

令和 6年度予算見積調書

課室名：障害者福祉推進課
 担当名：社会参加推進・芸術文化担当
 内線：3309 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業			
S136	視聴覚障害者コミュニケーション等支援事業費		一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	障害者地域活動費			
事業期間	昭和44年度～	根拠法令	障害者基本法（第6条、第22条）、障害者総合支援法（第78条）身体障害者福祉法（第21条）		針路	07	誰もが活躍し共に生きる社会の実現		SDGsゴール	10
					分野施策	0703	障害者の自立・生活支援		SDGsターゲット	10-2, 10-3, 10-4
1 事業概要			5 事業説明							
言語・聴覚障害者は他者との意思疎通が苦手であったり、必要な情報を得にくい状況にある。 聴覚障害者等へのコミュニケーション手段の習得訓練及び情報提供の機会を拡大を行い、自立と社会参加を促進する。			(1)事業内容 ア 音声機能障害者発声訓練・指導者養成事業 522千円 音声機能障害者(喉頭摘出者)のコミュニケーション手段を確保するため、発声訓練を実施するとともに、その指導者を養成する。 イ 聴覚障害者災害時等情報ネットワーク運営支援事業 984千円 聴覚障害者等に対する災害時等の情報提供ネットワークを構築・運営するために必要な経費を助成する。							
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)			(2)事業計画 ア 音声機能障害者発声訓練・指導者養成事業 県立がんセンターほか1か所で発声訓練事業を実施。 イ 聴覚障害者災害時等情報ネットワーク運営支援事業 1団体に対して補助する。							
3 地方財政措置の状況 なし			(3)事業効果 ア 音声機能障害者発声訓練・指導者養成事業 コミュニケーション手段が確保され音声機能障害者の社会参加が促進される。 イ 聴覚障害者災害時等情報ネットワーク運営支援事業 生活情報の入手が促進されるとともに、万一大きな災害が起こった場合の情報提供手段が確保され、聴覚障害者の安心できる環境づくりが促進される。 【活動指標(アウトプット)】発声機能訓練事業、災害時等における聴覚障害者への情報提供の実施 【成果指標(アウトカム)】障害者の自立と社会参加の促進							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.4人=3,800千円										
予算額		財源内訳						一般財源	前年との 対比	
		国庫支出金								
決定額	1,506	753					753	0		
前年額	1,506	753					753			

事業内訳書

事業名	視聴覚障害者コミュニケーション等支援事業費		
単位事業名	音声機能障害者発声訓練・指導者養成事業	予算額	522千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 社会福祉費補助金	261	0	障害者福祉費補助金 補助率 1/2
一般財源	261	0	
合計	522	0	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	522	0	音声機能障害者発声訓練・指導者養成事業業務委託
合計	522	0	

単位事業名	聴覚障害者災害時等情報提供ネットワーク運営支援事業	予算額	984千円
-------	---------------------------	-----	-------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 社会福祉費補助金	492	0	障害者福祉費補助金 補助率 1/2

単位事業名	聴覚障害者災害時等情報提供ネットワーク運営支援事業	予算額	984千円
-------	---------------------------	-----	-------

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	492	0	
合計	984	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	984	0	聴覚障害者災害時等情報提供ネットワーク運営支援事業
合計	984	0	